

OMC事務局 〒565-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-833-9227
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL0720-50-5781

平成10年12月(1998年) No. 396

OMC映像フェスティバル 無事終了

大阪アマチュア映像連盟の映像祭が今月1日に行われたばかりで、OMC映像フェスティバルの来場者数が懸念されましたが、阿倍野市民学習センターのホールにほぼ満員の入場者がきて下さりほっとしました。今回は関さんの「パロディー合唱」や有村さんの「Another Dream」など東京アマチュアコンテストで評価された秀作があり、内容的にもまずまずの出来だったと思っております。上映時間的にはあと2~3本は可能でしたので、来年は多くの方がフェスティバルに向けて自信作を制作されますよう、今から目標を立てて取り組んで欲しいと思います。フェスティバル開催につきましては、上映担当の関さん、藤原さんをはじめ多くの会員の皆様にご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

OMC会長 合原一夫

新年会は1月17日(日)18時より

恒例の新年会は昨年同様、「さと法善寺店」にて1月17日(日)18時より行います。年1回の催しですので是非ご参加下さい。同封のハガキで、会長宛に年内に投函して下さい。いつもの例会では十分な歓談の時間が取れませんので、こういう機会に存分の歓談を楽しんでいただきたいと思っております。ご案内の詳細は別紙の通りです。

12月例会は19日(第3土曜)です

毎年12月例会は1週間早めて第3土曜日です。今月は12月19日(土)阿倍野市民学習センターにて、18時~21時です。今年最後の師走例会です。なにかとご多忙中とは思いますが、作品持参のうえ是非お集まり下さい。2次会のほうも一杯組、喫茶組それぞれ楽しくやりましょう。

11月例会レポート

11月例会日は朝夕めっきり冷え込むようになった季節であります、出席者が18名という最近では珍しく20名の大台を割った例会でした。会員さんそれぞれが旅へ出かけておられるのか、行事が多かったのかわかりませんが、やや淋しい出席者数でありましたが、作品の方は10本の大台を確保しませぬの例会でした。途中、前期皆出品の有村、江村の両氏へ記念品が、皆出席の合原、関、奥、前田、増池、渡辺の6氏にもそれぞれ記念品が贈られました。また、翌日がOMC映像フェスティバルの当日なので、設営などの準備にご協力をと、合原会長より呼びかけがありました。今月の司会は有村さん、書記・安居さん、デッキ係・前田さん、受付兼スイッチ係は増池さんへお願いして、会を進行しました。

- 出席者：有村、今井、江村、勝、金子、奥、合原、花岡、松本、宮崎、安居、安居良枝、増池、前田、森、森下、中尾の17名（敬称略）
- 見学者（来月よりご入会か）：高田淳吉さん（作品持参）以上18名。

上映作品（今月の短評は安居利次さん）

1. 競艶 金子博泰さん 3分36秒
単調なりズムのBGMをかぶせた、着物の足元だけのアップの行進は、はっとする導入部分です。これに続けて帯だけの行進とか、間に短いカットで袂の模様アップが入って、かんざしを指した髪行進と続けば、タイトルに似合った構成になったのではないのでしょうか。着物の美しい柄のアップと、行進という静と動の対比も顔をいっさい写さなかったら面白そうだな、と勝手に思ったりしました。
2. パルケエスパーニヤ 増池 茂さん 9分15秒
志摩のスペイン村の様子がよく判りました。殆どが、静止画で、ターンもチトルも使っておられません。でも絵がきれいなので、みている間に5分たっていました。その後は、カットの中身が動く乗り物だったので、静止画のカットつなぎも意識しないで見てしまいました。人も少なかったそうですが、人物のアップがあれば、スペイン村の躍動感が出て、作品に厚みが加わったのではないのでしょうか。前半きれいな絵ですが、涙をのんで、もう少し短くしてもらえば言うことないんですが・・・。
3. やすらぎの里 当尾の秋 奥 宏さん 7分
当尾の里は、いい所です。岩船寺から浄瑠璃寺まで、多少の坂道はありますが、石仏を訪ねて、歩くとカメラをかついでいても、疲れは感じないと思います。新鮮な柿や野菜、そこにある無人スタンド、人と人の暖かい信頼関係を、みてとった作者は、ここ

を、やすらぎの里と名づけられたようで、共感を感じます。
とすれば、岩船寺も浄瑠璃寺も狂言まわし的に、とくにナレの「しかし、
心ない人のため・・・」は事実でしょうが、テーマのやすらぎの里とは、
相反するので、いれないほうが、夢があつていいように思います。

4. 名月や 今井羨美さん 4分57秒

主役の名月を、ほんの少しづつ、ちらり、ちらりといいカット
だけ見せる手法は、成功していると思います。そして最後に、
笑窪までみえる月の大写し、もうちょっと見たいと思ったところ
でひかれましたが、それもいいのですが、公式に反してアッ
プのままで、ぱんと暗転して終も面白いかな、思います。
勿論、BGMのENDとの合致も必要ですが・・・。お月見は、コン
トラストがないので、月以外を撮る時が苦勞するところです。
ゲインを上げないで、きれいに撮る方法はないものでしょうか
ね。

5. 住吉大田楽 安居良枝さん 5分30秒

住吉大社かがり火フェスティバルのメインの催しものとして、数
年まえから恒例になったものです。座ったら最後、低姿勢で、2
時間ただただ、我慢の撮影です。同じ位置から、どう変化をつ
けて撮るか苦勞したようです。ただ幸いなことにライトだけは、
充分だったので、オートで撮っても、コントラストはちゃんと
出て得をしたと言っていました。編集で音のつながりに時間をと
ったようです。BGMを使わず、生音でつなぐことは、絵だけのつ
なぎより、しんどかったようです。でも、音処理はまだまだ完
全でないと思います。それを言えば怒りますが・・・。

6. 平野の歴史的考察 安居利次さん 9分

平野に住んでいる人を対象に作ったものなので、司会のご指摘
のように、第三者には説明不足のところが多々ありました。そ
の上いつものくせで、内容を詰めこみすぎたようです。タイト
ルも歴史的考察より、歴史考のほうがよいとの意見もあり、な
るほどと思いました。

7. ほうらんや 江村一郎さん 8分20秒

近鉄南大阪線の樞原神宮に近い坊城で、8月15日に行われた火ま
つりの作品です。藁の太い束を青竹で桶のたがのように巻いて、
神輿として担ぎます。その藁に火がつけられるので、迫力があ
ります。見物人の頭ごしに、火のついた神輿と平行してアップ
で走りながらの撮影は、江村さんならではのカットです。見物
人の腕に舞い落ちた火の粉の灰を片方の手で、何気なく落とし
ているカットを挟み込むことで臨場感がでています。全体とし
て江村調でないとの意見もありました。ナレをいれるともっと、

もっと江村調でなくなるかもしれないので、時間を短くしてテンポとムードで、もりあげてほしいものです。

8. きもの大園遊会 **有村 博さん** **9分17秒**

そんなにメリッくないのに、遠い所から着物きて大勢の若い女性が集まって来る、成人式に作った晴れ着、着る機会がないんですって。こう言う隠れた自己顕示欲を見つけ出すセンスが、不況時代を生きるコツかもしれません。作者も言っておられましたが、この手の題材は、まとめるのに頭をなやまします。インタビューをいれて、社会時評的なコメントをつけるのも、一つの方法かもしれませんが、それも撮りにいった後で、言えることで、始めての所で何が起こるかわからないぶっつけ本番の撮影会では無理というものでしょう。でも若い女性の艶やかな晴れ着姿は何時見てもいいものです。

9. 坂の上の観音さん (清水寺界限) **宮崎紀代子さん** **7分30秒**

最近めきめき、腕を上げられてきた宮崎さんは、作品全体に流れるタッチがやはり、俳画風のように思えます。そのうちに自作の俳句を出して画面で説明するか、紀行作品の一節ごとに自作の俳句でまとめていかれると、宮崎さんならではのビデオ作品になる事間違いなしです。自分の得意分野を基調とした作風を作り上げることが、一番の早道です。好きなことだから努力がいらぬからです。細かいビデオ制作上の問題点は、その都度、自分で納得して改善されたら上達のスピードも加速していくものと思います。

10. 酒蔵ルネサンス **高田淳吉さん** **7分30秒**

いきなり手の込んだ効果のかかった導入タイトルに、どきっとしました。カットつながりが全部短いオーバーラップです。そうなんです。これが話題のノンリニア編集。後できいてみたら、ハードデスクが70ギガ、われわれが手を出そうかと思っているバイオの710の11.9ギガバイトとは桁違いです。作風は、NHK的のかっちりとした撮り方で、基礎がしっかり出来ている事は、誰の目にも一目瞭然です。NHKでもこの頃は、民放のまねをして、アップをいれだしましたので、画面にインパクトをつける意味と、アマ集団ですから、自分の意見を入れること、お願いしたいという声がありました。それにしても、これから進むであろうノンリニアのニューリーダーとしてOMCの牽引力になって欲しいと思います。

以上で上映を終わり、いつもよりやや早目の8時過ぎ、一杯組と喫茶組に分かれて2次会を楽しんだのち散会しました。